

こんな事で困っていませんか!?



交通事故のあと、何かおかしい。

ケガは治ったけど、物忘れがひどい。
仕事が出来なくなった。



脳梗塞で治療を受け
治ったけど、
何かおかしい。

家族に対して、不信や攻撃する。
感情の起伏が激しい。

高熱で脳障害と
言われたけど、
何かおかしい。

いつも沈み込んで暗くなった。

それは、もしかすると
高次脳機能障害!?



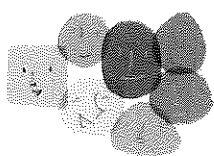
自分の状態や家族の困りごとで悩んでいる方
家族会「あかり」に参加してみませんか?

- 定例会・お話会：毎月第3土曜日 13:30~15:30 (予定)
- 宮崎市民プラザ4階会議室 (予定)

定例会	29年度開催予定日時	お話会	29年度開催予定日時
第1回	5月20日(土)	第1回	6月17日(土)
第2回	7月15日(土)	第2回	8月19日(土)
第3回	9月16日(土)	第3回	10月21日(土)
第4回	11月18日(土)	第4回	12月16日(土)
第5回	1月20日(土)	第5回	2月17日(土)
第6回	3月17日(土)	第6回	4月21日(土)

みやざき高次脳機能障がい家族会あかり

事務局：宮崎市吉村町寺ノ下甲2290番地コスタ吉村101号
(相談サポートクローバー内) TEL：0985-72-8282
フェイスブック：あかり Email：clover@urban-e.co.jp



平成29年 4月15日

高次脳機能障がい関係医療機関の長 殿

みやざき高次脳機能障がい家族会あかり
会長 長友 香保利

高次脳機能障がい当事者の在宅生活支援研究事業の実施結果について

高次脳機能障がい当事者・家族への支援につきましては、日頃から、ご協力いただき、誠に有難うございます。

私ども、みやざき高次脳機能障がい家族会あかりでは、これまで、当事者・家族の交流や体験発表、初めての試みとして「みやざき保健ふくしまつり」での「大喜利」の披露などに取り組んでまいりました。

その中で痛感しますのは、高次脳機能障がい「見えない障害」であり、社会の理解も不十分なことです。

そこで、当家族会の当事者の事例を提供し、医療機関において、当事者と関わることの多いOT、ST、PSWなどのコメディカル、退院後の日常生活に関わることの多いMSW、ケアマネージャー、相談支援専門員等の皆様による事例検討を行うことにより、高次脳機能障がい当事者の在宅生活支援の一助としたいと考えて、説明会、事例検討会を開催してまいりました。

今回の事例検討会は、当事者、家族参加型の初めての試みでしたが、アンケートを取り纏めました結果、別紙の通り、来年度も引き続き取り組んで欲しいという回答が大多数でした。ただ、家族会でやるべきことか、当事者の個人情報はどうするのか、コメディカルだけで良いのかなど課題も多く、関係機関や関係者と協議して行きたいと考えています。

なお、みやざき高次脳機能障がい家族会あかりのご案内を同封しておりますので、当事者・家族にご紹介いただけますと幸いです。

高次脳機能障がい在宅生活支援研究事業(当事者が在宅で安心して暮らせるために)
事例検討会アンケート結果(アンケート総数:31枚 延べ参加者数:54名)

1 あなたの職種又は立場は？

PSW 1、OT 11、ST 5、ケアマネ 3、相談支援専門員 1、PT 2、MSW 1
CP 1、DR 1、サービス管理責任者 1、行政 1;当事者 2、家族 1

2 多職種による事例検討について

ア 参加して (良かった 29、まあまあ 2、あまり意味がなかった 0)

イ 具体的には？ 当事者のリアルな状況が分かった。
当事者の症状と困りごとが繋がった。
他の職種の意見が分かったなど。

ウ 当事者・家族が参加する方式をどう思いますか？ (良かった 21)
リアルさ、真剣みが違う。
メリット、デメリットがある。
当事者と医療者の立ち位置が気になる。
当事者・家族と医療者との通訳的存在が大事。

エ 他に、参加を呼び掛けた方が良い職種がありますか？
NS(複数あり) CP 教師 保健師 障がい支援事業所のケアワーカー
DR(脳外科、精神科、心療内科、神経内科、整形外科等)
(現在、呼び掛けているのは PSW、OT、ST、ケアマネージャー、相談支援専門員)

エ 平成29年度も継続した方が良いと思いますか？ (良い 27)

3 事例検討を通じて、

ア 高次脳機能障がい当事者の地域生活にはどのようなサポートが必要だと思いますか？
在宅生活に合わせたリハビリ、生活面からの通所リハビリ、
地域住民の理解拡大、身近な代弁者(サポーター)の確保、
過ごしやすい環境、相談窓口の整備

イ 同じく、家族には、どのようなサポートが必要だと思いますか？
サポートしてくれる友人、家族の交流、近隣の理解、
介護者のレスパイト環境、
苦しみをありのままに受け入れてくれるスタッフ

ウ こどもの高次脳障がいについて、学校教育の中で、どのようなサポートが必要だと思いますか？
教師の理解とそのサポート、友人・学校の理解、
該当者の状況申し送り、発達障害との共通性を踏まえた
専門的な教材、ユニバーサルデザインでの対応